



第139号
平成30年11月15日
発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel:042-581-8171



会員数(人)
平成30年9月30日
計 1,688
男性 1,198
女性 490
9月入会者10
(男6、女4)
9月退会者15
(男9、女6)

就業選考の運用方法が変わります

組織活動参加など総合評価重視へ新たにポイント制導入

1.現在の運用状況

就業調整委員会設置規程第7条の条文には「：別表の「就業選考基準」を総合的に判断して、就業会員を調整するものとする。」と規定されています。その「就業選考基準」が、平成30年1月29日開催の平成29年度第10回理事会において、下表のとおり改正されました。

しかしながら、「就業選考基準」を総合的に判断して就業会員を調整することとなっていますが、総合的な判断にはその根拠となる材料(数値等)が明確ではないため、現在は未就業期間、申込み回数を基本として、センター組織活動参加度を参考にしながら運用している状況です。

したがって、このたび規定に則った就業選考を行うことを目的と

して、新たな運用方法を策定しました。なお、保存版を折り込んで

基準項目	主たる判定内容
未就業期間	未就業期間の長さ及び事情(単発業務を除く。)
申込み回数	申込回数の多さ
トラブルの有無	発注者、市民、会員とのトラブルがなかったか。発注者、市民、会員、職員に対する対応は適正であったか。
健康状態	現在、職種に対応できる健康状態であるか。
適性職種	希望職種の適応性。
センター貢献度	地域班、各種委員会等センター運営組織機関での貢献度。
センター組織活動参加度	定時総会、地域班会議、社会奉仕活動(多摩川・浅川クリーン作戦、全地域班一斉清掃)の過去の出欠状況。
その他	上記以外

2.新運用方法

でいます。

まず、健康状態として「現在、この仕事に対応できる健康状態である」、適性として「希望する職種の適応性がある」ことを前提としたなかで、上表の基準項目中、
1.未就業期間 2.申込み回数
3.センター組織活動参加度(定時総会、地域班会議(前期・後期)、一斉清掃(2回)、多摩川・浅川クリーン作戦) 4.センター貢献度(理事、監事、委員会委員、班長・副班長、職場リーダー)をポイント(P)化し、合算します。

なお、ポイント化にあたっては、下表の考え方とします。

これによって算出されたポイント、その他トラブルの有無、健康状態などを総合的に判断します。また、次のケースでは、

① 募集人数と申込者数が同数以下の場合

(1)最近まで、募集職場に就業して

ポイントの算出方法	
・未就業期間 ※上限を12カ月とする。	1カ月を1P
・申込み回数	1回を2P
・センター組織活動参加度 ※申込締切日から遡った6回分の活動参加のうち、4回12Pまでとする。	1回を3P (未入会=1.5P)
・理事、監事、委員会委員、班長・副班長、職場リーダー(過去1年間) ※過去1年間とは、申込締切日から遡った1年間とする。	3P

いる場合には、面接なしで決定。
(2) 同職場の経験がない場合で、適性(健康状態を含む。以下同じ)を確認する必要があると判断される場合には、面接を行う。

(3) 過去のトラブルの内容において、適性がないと判断される場合
2面へ続く

共働・共助

配分金の支払日
11月20日(水)
12月20日(木)
1月18日(金)
2月20日(水)
3月20日(水)
4月19日(金)

2面から続く

合には、面接をおこなわずに決定とする。

② 募集人数を超える申込みがある場合

(1) 合算ポイントの高い順から、面接対象者を概ね4名以内で決める。

(2) 面接対象者を面接した結果、応募した職場における適性がないと判断された場合には不決定。適性に問題がない場合には、合算ポイントの順において最終決定。

(3) 合算ポイント順位が1位で、応募した職場に最近まで就業しており、トラブルがない場合には、面接なしで決定。

● 会員対象に、就業選考の新運用方法説明会を行います。

・日時

11月27日(火) 13時30分

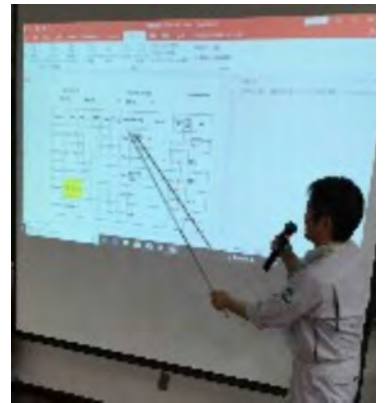
11月28日(水) 10時

・場所

当センター2階大会議室

地域班長会議を開催

今年度2回目の地域班長会議が10月12日午前、生活・保健センターで開かれました。



説明する生田局長代理

会議では来年春から導入が予定されている「就業選考の新運用方法」について、事務局から詳細な説明がありました。トップページに掲載した新運用方法のシミュレーション映像がスクリーン上に映し出され、新たに採用されるポイント制によって、従来の選考とは結果が大きく異なるケースが多いことが具体的に示されると「ずいぶん変わるね」と率直な感想もあらず班長さんもいました。

理事・監事の被推薦者を公募します

当センターの次期(平成31〜32年度)の理事および監事の候補者(被推薦者)を決めるため、理事会は10月29日、左記のように「理事及び監事推薦委員会」を設置しました。推薦委員会は候補者

を理事会に推薦します。

つきましては、本紙添付の「お願い」にありますように、理事・監事の「推薦基準」および「被推薦者の要件」に基づき、被推薦者を公募します。推薦期限は平成31年1月31日(木)とします。

理事・監事推薦委員会の顔ぶれ(カッコ内は所属部署)

- 委員長 増子 和男(事務局長)
 - 委員 渡辺 由紀子(総務委員会)
 - 委員 川瀬 明廣(事業委員会)
 - 委員 倉澤 博(地域委員会)
 - 委員 上嶋 光代(女性委員会)
 - 委員 穴山 忠敬(安全管理委員会)
 - 委員 今村 優(広報委員会)
- (敬称略)

40周年記念式典 出席票提出のお願い

日野市SCは、来年2月に設立40周年を迎え、4月20日に市民会館(ひの煉瓦ホール)で記念式典を執り行います。

準備の都合上、当日の出席人数を事前に把握するため、出席票のご提出をお願いします。折込チラシをご確認いただき、各班の後期地域班会議へお持ちいただくか、事務局へご提出ください。

理事会ニュース

★第7回理事会 10月29日

- ・審議事項 正会員の入会(30人承認、11月1日30人入会)
- ・報告事項 平成30年度事業実績(4〜9月分) 契約金額3億2935万円(前年度比1.4%増)

「センター行事日程」

● 就業選考新運用方法の説明会

- ・日時 11月27日(火) 13時30分
- 11月28日(水) 10時
- ・場所 シルバー人材センター 2階大会議室

あいさつ運動

11月1日市内の小中学校であいさつ運動を実施。この日、登録ベースで82名の会員が各学校であいさつ運動に参加。平山中学校では、



左から1人置いて3会員

と校長先生が生徒たちとあいさつをかわしました。

地域班会議での質問に 対する回答 (抜粋)

平成30年度前期「地域班会議」での質問に対する回答です。今月号から順次掲載します。

1 カルチャークラスのソロバン教室

を地域でも広げたいが、ソロバン教室が営利事業とみなされて、地区センターが借りられない。公益法人シルバー人材センターとして、市に働きかけてほしい。(子供の教育に寄与するボランティア活動で、営利事業ではない)

回答

いきいきカルチャークラスや刃物研ぎ等のセンターが実施する事業について、地区センターや交流センター等の市の施設の使用についてお願いしてきた経緯がありますが、目的外使用(営業活動)と公平性の観点から使用を認めないという日野市としての見解は変わっておりません(そろばん教室の月謝は3000円でボランティア活動とは理解されないこと。特定団体の優先使用となること)。

(事務局)

2

請負から派遣にコンプライアンスの観点から切り替えることは理解するが、請負の仕事機会を増やすことにも注力して欲しい。高年齢者は請負契約の方が派遣契約の仕事よりも適していると思います。

回答

どのような主旨で高年齢者のほうが請負業務に適しているかと仰られているのかは分かりかねますが、日野市シルバー人材センターとしては、業務内容によって適切に請負、派遣と分けて契約しております。(事業委員会)

女性会員交流会

平成30年11月5日(月)13時30分から多摩平交流センター集会所で交流会が開催されました。

女性委員会は、会員さんが参加したいと思う魅力のある会場を用意しましたが、変わりやすい悪天候で参加者は19人でした。

日野警察署防犯係による講演は「特殊詐欺被害対策」。始めのうち「もう、色々な所で聞かされている」との声もありましたが、DVDを見るうち心理学者の解説

で犯人たちの巧妙さを知り、改めて気を引き締める思いになりました。防犯は「電話にはでんわ(出ない)の一言に尽き、犯人を撃退するための「自動通話録音機」を日野市役所から貸与してもらえそうです(貸与の問い合わせは、日野市役所 防災安全課 042(514)8963(直)へ)。

その後、数人ずつに分かれ女性委員会が用意したお茶菓子を囲み和気あいあいでフリートーク。テーマは特にありませんでしたので、先ほどの詐欺の話、「あいさつ運動」へのお誘い、職場での問題をどこに相談するかなど。

感想としては、フリートークの時間が短く十分に話が出来なかったとの声が聴かれました。



グループに分かれフリートーク

秋のリサイクルフェア & 日野ウォークフェスタ

朝から過ごしやすいく気温で、小春日和の10月28日、リサイクル事務所恒例のリサイクルフェアと日野市最大のウォークイベントである「日野ウォークフェスタ」が行われました。

フェアは来場者が多く、朝の間帯は入場制限を行う程の盛況でした。担当者によると食器類の売れ行きが好調で、配達品も多く受注。浅川スポーツ公園には、工房クローバーがブース出展、小物類を中心に展示・販売。

一方フェスタでは、子供たちがハロウィンの衣装で「トリック オア トリート」の掛け声も可愛く、風船を手に浅川遊歩道を歩きました。また、主会場の浅川スポーツ公園では、クライミングウォールや各種スポーツ体験で身体を動かす一日になりました。



クライミングウォール

今年の安全標語を募集します

今年も、事故ゼロを目指し安全就業の徹底を目標にした安全標語を募集します。

今年のテーマは

- ・作業方法・手順の確認とルールの順守徹底
- ・転倒防止

の2本です。皆様の振るつてのご応募をお待ちしています。

○応募点数

1人何点でも結構です。

○応募方法

ハガキに地域班名と氏名を記入し、日野市シルバー人材センター事務局あて送付、または直接ご持参ください。

○締切日平成31年1月15日

最優秀作品1点、入選作品5点を選考し、入選者は本紙その他で発表します。

(安全管理委員会)

日野市SC多彩に活動！ まちづくり市民フェア2018

今年で7回目の日野市の市民活動団体が一堂に集う「まちづくり市民フェア2018」が10月21日(日)、市民の森ふれあいホールで開催されました。「学ぶ」「楽しむ」「味わう」「得する」をコンセプトに開催された今回の市民フェアには70を超える団体と晴天にも恵まれて多くの市民が来場しました。また、今回は開始時間前に「プレオープン交流会」の時間も設けられ、参加団体の人達がお互いに知り合い、交流を促進する工夫もされていました。

当シルバー人材センター(SC)は今回で3回目の参加となり、広報委員会によるパネル展示や会員募集・仕事紹介のPRチラシ配



賑わう当SCのブース

布・DVD上映。また、リサイクル事務所の家具、小物・電化製品の販売に、工房クローバーが手作りの手芸品やアクセサリー販売のために確保した2区画の広いスペースがほほいっばいになり、活気ある展示風景となりました。当日は200部以上を準備したPRチラシは早い時間に大半を配布し、リサイクル事務所の商品も開始直後に4品目を売り上げ。工房クローバーでは手芸品や小物を「きれいね」と手にとりて見入る客などで終始賑わいました。また、この日は広報委員会委員によるシルバールのマスコットの着ぐるみも初登場、会場を歩いて人気者になりました。



お客様とマスコットのシルバール君

日野市SC40周年記念式典
平成31年4月20日(土)

あと6カ月



防災百人一首のゲーム

今回の市民フェアにおける当SCの特筆すべき活動は、このフェアを更に盛り上げるため、広報委員会が参加団体のユニークな活動を取り上げてもらうよう、関係事務局や担当課を通してメディアに直接働きかけたこと。それが実って中央大学ボランティアセンターの学生が企画・実施した「防災百人一首」実演の様子を当日読売、日経、東京の新聞各社記者が来場し取材したほか、毎日も事前に紹介しました。市民フェアに積極的に協力する当SCとしてうれしい限りです。

市実施の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます

★各種がん検診、肝炎ウイルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111